

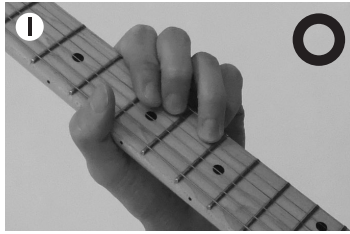
注意点1



左手

ネックを握り込み 弦を的確に持ち上げよう!

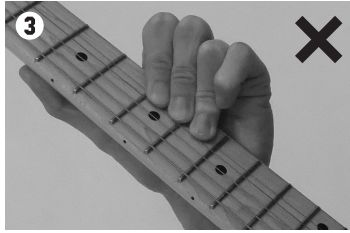
このメイン・フレーズで使用しているチョーキングは、ギターを歌わせるために必要な重要なテクニックだが、ただ弦を持ち上げればいいと勘違いしているギタリストもいるので、ここで弾き方を解説しよう。まず、チョーキング時には人差指と親指でネックをしっかりと握り込むことが大切だ。そして、小指をネックに近づけるように手首にひねりを加える感じで弦を持ち上げよう(写真①&②)。親指をネック側に向けてしまうと、手首が固定されて指に力が入らず、さらに左手の指が逆にそってしまい、弦をしっかりと持ち上げることができなくなるので注意すること(写真③&④)。まずは、上記の基本フォームを確認しよう。



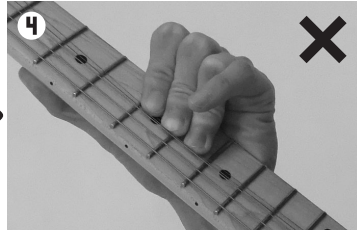
チョーキングを行なう薬指はしっかり押弦すること。



ネックを握りながら、手首をひねってチョーキングする。



手の平がネックに密着すると……



指が反ってしまって、弦が持ち上がらない。

注意点2



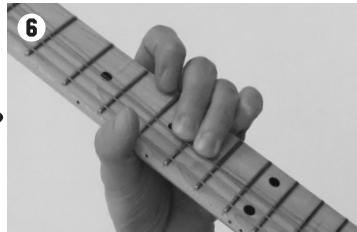
左手

チョーキングする指以外の 指の使い方にも注意すべし!

チョーキングは、フォームやピッチ(音程)【註】はもちろんのこと、チョーキングする指以外の指の使い方にも注意が必要だ。メイン・フレーズ3小節目1&2拍目では、1拍目の2弦10フレットのチョーキングを中指と薬指のみで行なうことで、2拍目の人差指による1弦8フレットの押弦をスムーズに行なうことができる(写真⑤~⑦)。また、チョーキング後の離弦で2弦開放が鳴ることが多いので、人差指が2弦に軽く触れてミュートすると良いだろう。こういった点に気を配ることによって、ノイズの少ないプレイが可能になる。TAB譜を読みながら漠然とポジションを追うのではなく、常にノイズ対策や無駄の少ない運指を考えながら演奏しよう。



ネックをしっかりと握ってチョーキングの準備をする。



中指&薬指でチョーキング。人差指は1弦上で待機!



人差指は押弦と同時に2弦のミュートを行なう。

~コラム2~

教官の戯れ言

チョーキングは弦を持ち上げるため、指が隣接弦に触れてノイズが発生しやすい。弦をしっかりと持ち上げていても、余弦が振動してノイズが出ているようでは、綺麗なチョーキングとは言えないのだ(写真⑧)。この問題を解消するためには、チョーキングをしていないほかの指でミュートをすると良い。薬指でのチョーキングでは、人差指を使って余計な振動を抑えよう(写真⑨)。この時、人差指は弦に軽く触れるようにすること。慣れるまでは、常にミュートを行なうことを意識してみてほしい。慣れてくれば、チョーキングとミュートをセットで行なえるはずだ。

親指と人差指で振動を止めよ! チョーキングのノイズ対策法



2弦をチョーキング。3&4弦はミュートされているが、5&6弦のノイズが発生しやすい。



人差指が4&5弦、親指は6弦に軽く振れることで、余計な振動をカット。ネックをしっかりと握り込もう!

【ピッチ(音程)】中級者でもチョーキングのピッチが甘い“チョーキング音痴”はいる。どんなに音に魂を込められたとしても、チョーキングの音程が合っていなかったら台なしだ。チョーキングのピッチには細心の注意を払うべし!